

北海道憲法共同センター ☎011-252-7475 FAX011-252-7483 mail: love9hokkaido@gmail.com

テルアビブも 50 万人! 週末、札幌も ガザ停戦求める市民

イスラエル国旗とともに「Stop GAZA Genocide」のボードを掲げ「ガザ停戦」による「人質解放」を求める「50 万人」とも言われる市民のデモ。イスラエル人ミュージシャン 1000 人の「Home」演奏・・・。

イスラエル国内でネタニアフ政権のパレスチナ攻撃に抗議し、停戦による人質解放を求める市民アクションが連日インスタグラムなどで配信されています。(写真右。8/18)

ネタニアフ政権が「ガザ完全占領」計画、「民族浄化」を公言するなか、世界では、フランス、カナダなど G7 のなかからもパレスチナ国家承認の声があがり、市民の運動も大きく広がります。もう一回り包囲を！

今週末 24 日(日)も札幌駅南口広場で午後 1 時から(デモ出発 13:30)

そんななか、先日もヨルダンを訪問。「9 条を持つ日本こそ、平和をつくる先頭に」と北海道パレス地医療奉仕団が呼びかける札幌駅前アクションが連続します。

先週は、「さすがに今日はムリ」そう思って「一応準備」していたざんざんぶりの雨のなかとなりましたが、それにもかかわらず、市内の人々、労組員、憲法共同センターメンバー、「赤い涙」市民有志など多数がかかっ



て駅前集会 (写真)。エジプトやニュージーランド、インドネシアと国境を越えた市民、教員などが次々マイクを握り「奪われようとしている命を守るため、いま、私たちがここでできることを」と熱いメッセージが重ねられました。

「私たちの目の前で、今起きてること」「両親の目の前で、赤ん坊が飢えて死んでいく残酷な事態が目の前にあること」「食料も、水も、医薬品もなく、病院も学校も破壊し尽くされたガザを思う」「私たちにも、ここで出来ることはあるはず。あきらめない」と次つぎ熱いスピーチ…に心揺さぶられました。

**パレスチナの命を救え！8/24 札幌駅前アクションへ
会場整理・機材運搬など、集会スタッフも募集しています。**

#パレスチナの命を守れ #stopgenocideingaza

#もう誰も殺さないで #ceasefireInGazaNOW

#パレスチナ国家承認雨のなかの



憲法共同センター2025 年次総会 9 月 24 日(水)午後 6 時～ 道高校教職員センター(大通西 12) 4F 大会議室で